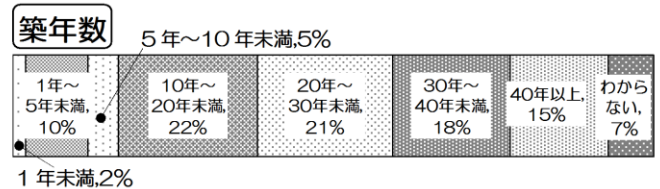
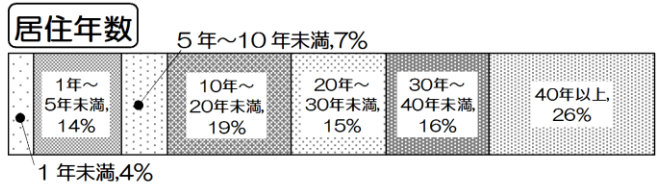
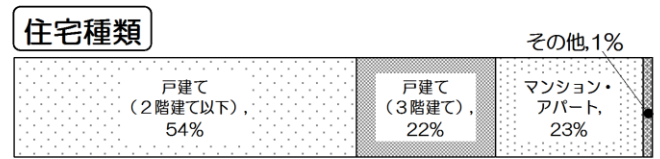
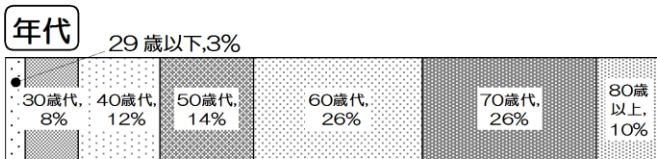


川崎市では、密集市街地の改善に向け、不燃化推進条例の制定、補助制度の拡充、小田3丁目に市内初の防災空地を創出するなど、「新たな密集市街地対策」の取組を集中的に進めているところです。今後さらに効果的・効率的な密集市街地対策を進めるため、小田2丁目・3丁目在住の皆様へ、アンケートにご協力いただき、密集市街地に関するご意見をうかがいました。

【アンケート対象】：小田2丁目・3丁目（重点密集市街地）

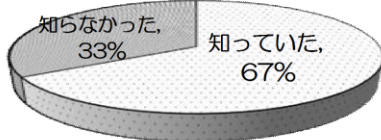
【実施時期】：平成30年7月 【実施方法】：ポスティング配布・郵送回収

■アンケート回答者の属性（配布対象世帯数：2,232世帯 回答世帯数：420世帯）

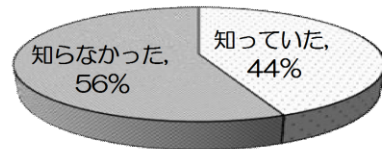


■密集市街地の改善に向けた取組に対する認知度について

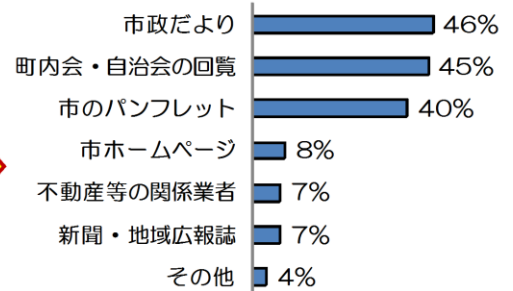
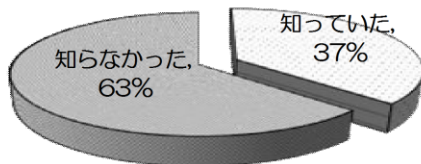
●重点密集市街地であることを、ご存知でしたか？



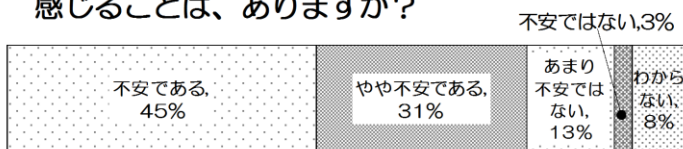
●不燃化重点対策地区であることを、ご存知でしたか？



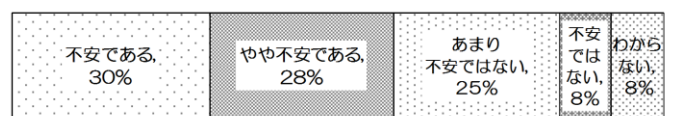
●不燃化重点対策地区の補助制度について、ご存知でしたか？



●地区の防災面について不安を感じることは、ありますか？



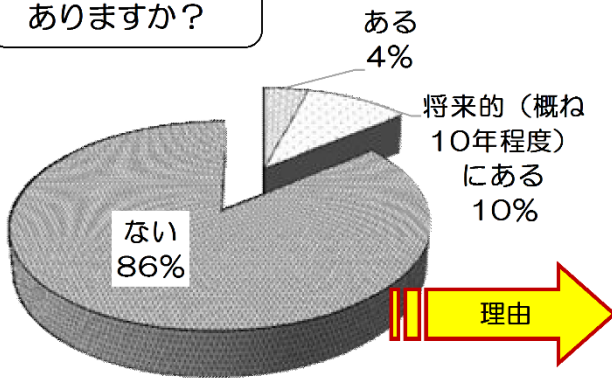
●建物の防災面について不安を感じることは、ありますか？



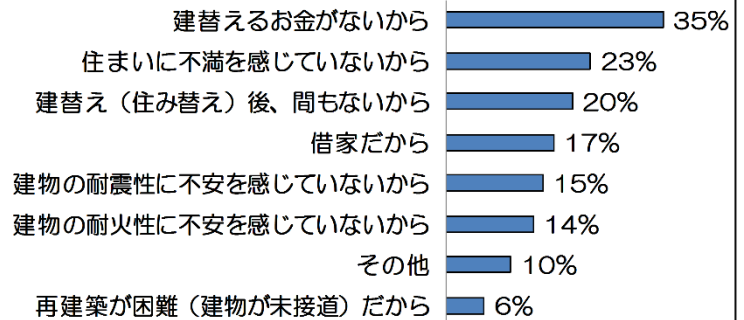
●重点密集市街地に対する認知度については、67%の方が「知っていた」を回答されました。これに対し、不燃化重点対策地区における補助制度への認知度については、37%の方が「知っていた」を回答され、「知らなかった」方は63%という結果になりました。

■建替え意向について

●建替えの意向はありますか？

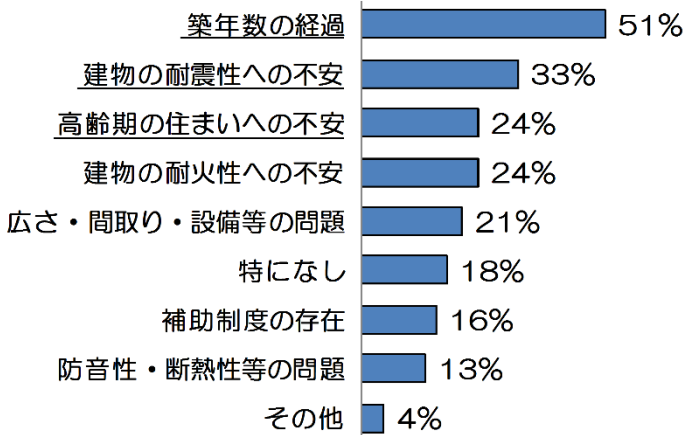


●建替え意向の無い理由（回答数：337）

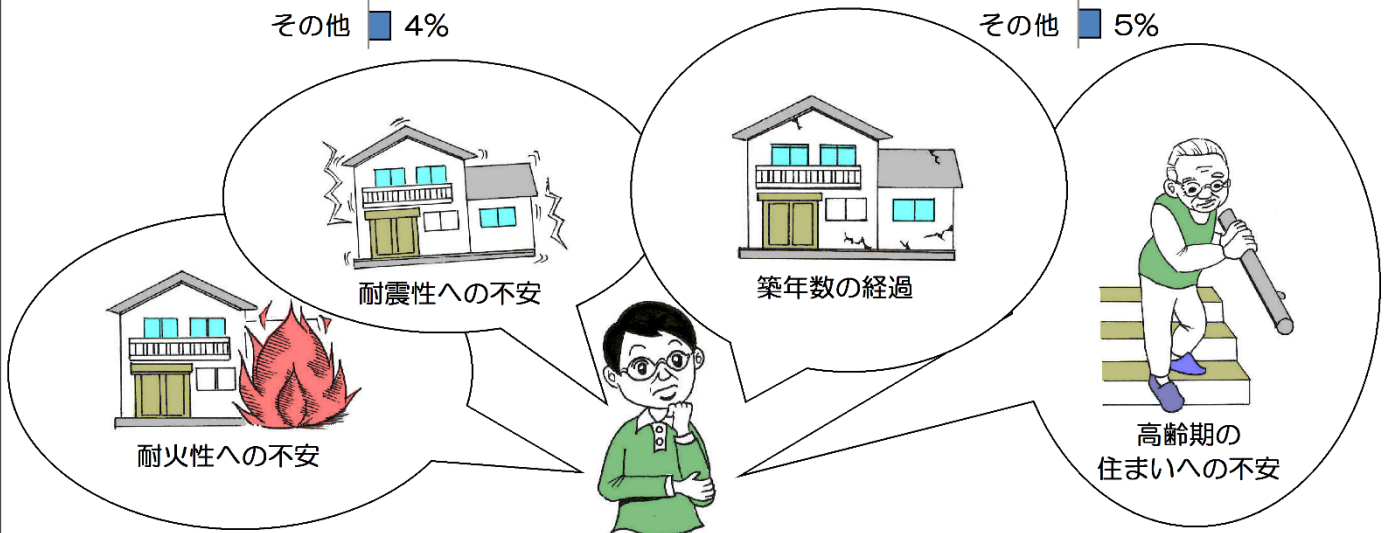
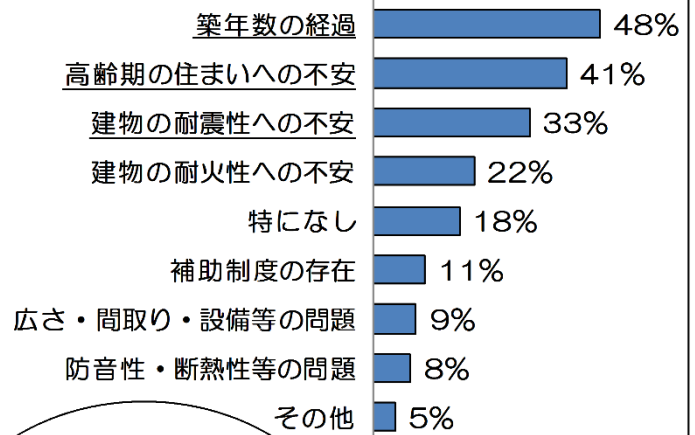


●建替えようと思うきっかけを教えてください（※建替え意向のない人にも回答頂きました）

●65歳未満（回答数：180）



●65歳以上（回答数：153）

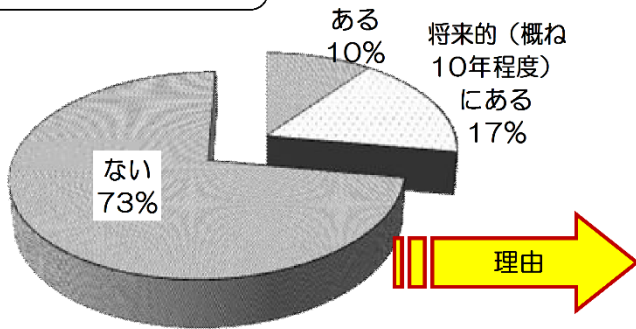


●建替えの「意向のある方」の割合が14%、「意向のない方」の割合が86%となっており、意向のない理由は「建替えるお金がないから」が最も多く、次いで「住まいに不満を感じていないから」が2番目に多い結果になりました。

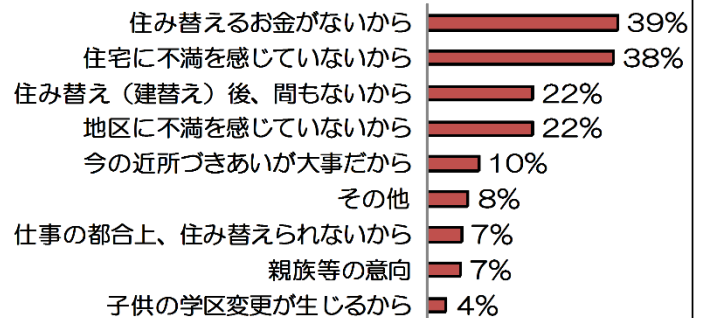
●建替えようと思うきっかけは、65歳未満、65歳以上ともに「築年数の経過」が最も多く、65歳未満では「建物の耐震性の不安」が2番目に多く、65歳以上では「高齢期の住まいへの不安」が2番目に多い結果になりました。

■ 住み替え意向について

● 住み替えの意向はありますか？

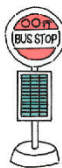
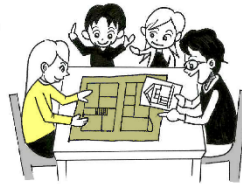
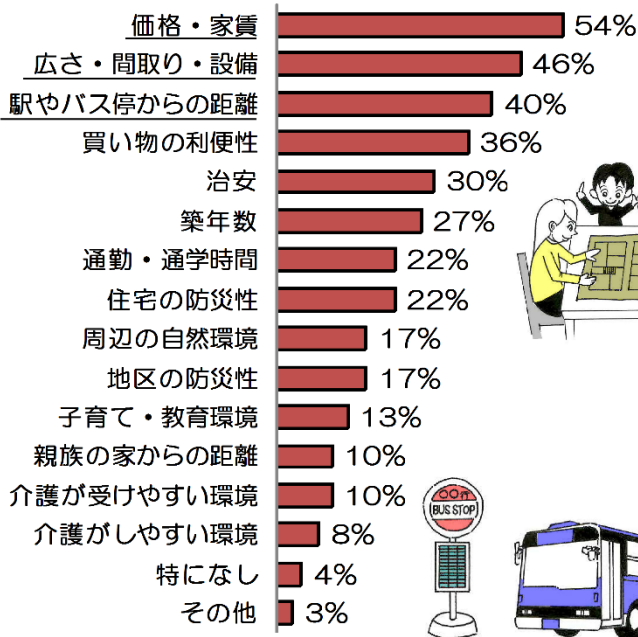


● 住み替え意向の無い理由（回答数：288）

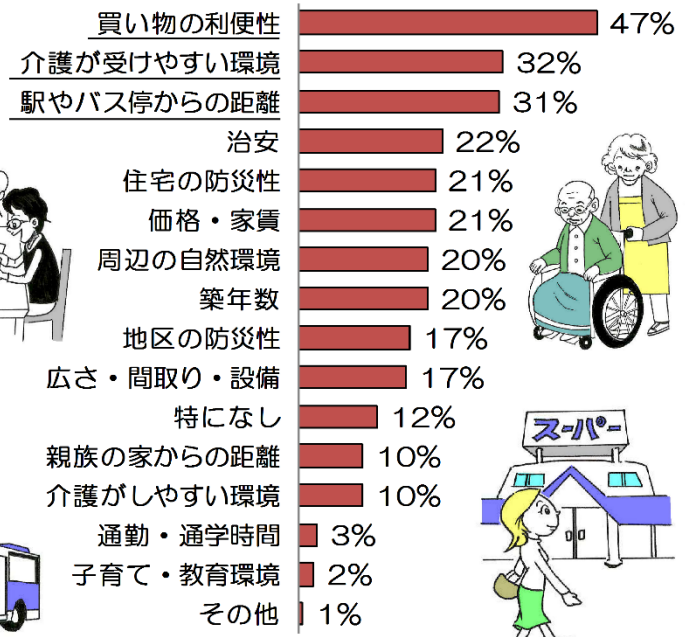


● 住み替え先を選ぶ際に重視することを教えてください（※住み替え意向のない人にも回答頂きました）

● 65歳未満（回答数：203）



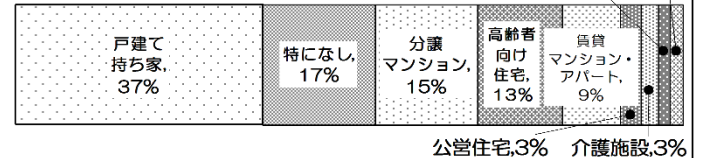
● 65歳以上（回答数：178）



● 住み替えたい地域



● 住み替えたい建物種類

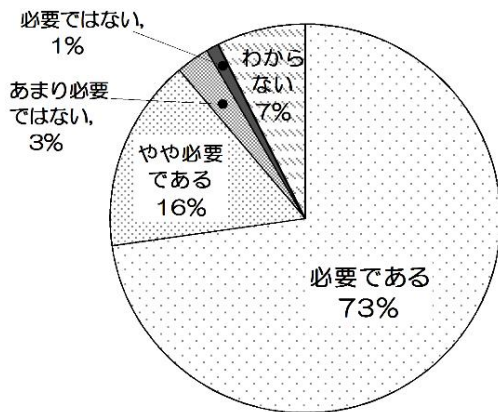


● 住み替えの「意向のある方」の割合が27%、「意向のない方」の割合が73%となっており、意向のない理由は「住み替えるお金がない」が最も多く、次いで「住宅に不満を感じていない」が2番目に多い結果となりました。

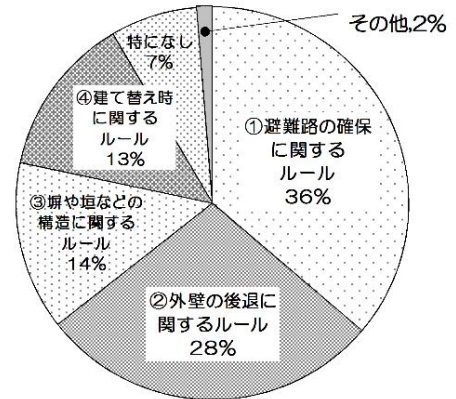
● 住み替え先を選ぶ際に重視することは、65歳未満では「価格・家賃」が最も多く、次いで「広さ・間取り・設備」が2番目に多い結果となりました。一方、65歳以上では「買い物の利便性」が最も多く、次いで「介護が受けやすい環境」が2番目に多い結果となりました。

■まちのルールづくりについて

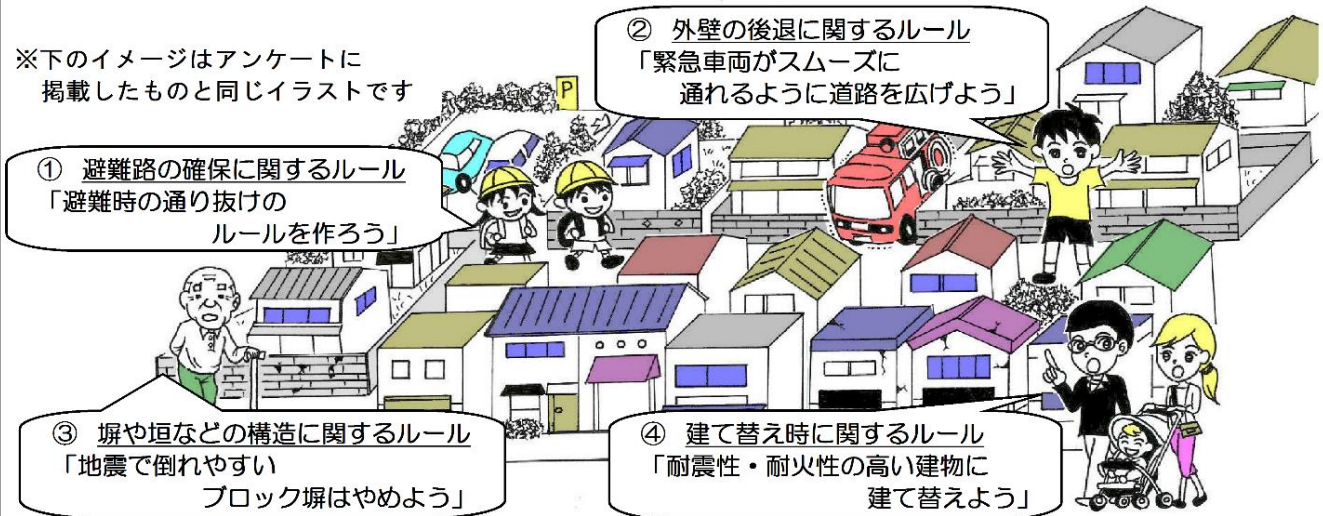
●まちのルールづくりは必要と思いますか？



●必要と思うまちのルールは？



※下のイメージはアンケートに掲載したものと同一イラストです



●まちのルールづくりは、89%の方が必要と感じている結果となりました。また、必要と思うまちのルールに関して、「避難路の確保に関するルール」が最も多く、次いで「外壁後退に関するルール」、「塀や垣の構造に関するルール」が多い結果となりました。

■その他、地域のまちづくりに関するご意見や期待することなど（主な複数意見は以下のとおり）

- ・交通面の意見が非常に多く、「交通安全の確保を目的とした道路拡幅」や「小田栄駅前の安全対策に関すること」等が多くありました。
- ・防災面では、「老朽家屋」、「空き家対策」、「安全な避難経路の確保」、「大雨の対策」など。
- ・防犯面では、「地域のパトロール強化」、「不審者対策」など。
- ・環境面では、「ゴミ出しルールの徹底」、「放置自転車対策」など。
- ・その他として、「町会活動に関すること」、「子育て・高齢者支援施設の充実」など。

川崎市では、地域の皆様からいただいたご意見を参考に、地域の課題解決と必要な機能の強化などにより、まちの地域防災力向上を目指していきたくと考えています。

災害に強く、安心して暮らせるまちづくりを地域の皆様とともに進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。